

## 30年8月分

## 問屋、仲買・小売商の先行き動向調査

## 1. 調査実施期間

平成30年 8月1日～ 30年8月10日

## 2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の問屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
8月分の回答企業数は41社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)=[「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)]÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) 荷動き動向 Weight. D. I.

| 品目   |     | 30/8月  | 9月     | 10月   |
|------|-----|--------|--------|-------|
| 仕入動向 | 国産材 | △ 3.1  | 3.1    | 0.0   |
|      | 外材  | △ 3.9  | △ 1.3  | △ 2.7 |
| 販売動向 | 国産材 | △ 12.5 | 1.6    | △ 1.6 |
|      | 外材  | △ 21.1 | 3.9    | 2.7   |
| 在庫動向 | 国産材 | △ 6.5  | △ 6.5  | △ 3.3 |
|      | 外材  | △ 5.3  | △ 13.2 | △ 9.5 |

・国産材の仕入動向は8月の減少から9月は増加、9月は横ばいに。外材は3カ月連続減少。

・国産材の販売動向は8月の減少から9月は増加、10月は再び減少に。外材は8月の減少から9月、10月は増加に。

・国産材、外材の在庫動向は3カ月連続減少。

## (2) 価格動向 Weight. D. I.

| 品目             | 30/8月 | 9月   | 10月  |
|----------------|-------|------|------|
| スギ正角(グリーン)     | 2.2   | 2.2  | 0.0  |
| スギ正角(KD)       | 6.0   | 10.0 | 6.3  |
| ヒノキ正角          | 0.0   | 3.8  | 0.0  |
| ヒノキ土台角         | 3.8   | 1.9  | 2.0  |
| 米ツガ正角(現地挽)     | 15.9  | 9.1  | 9.1  |
| 米ツガ防腐土台角       | 19.6  | 6.5  | 8.7  |
| 米ツガ割物(現地挽)     | 22.7  | 9.1  | 11.4 |
| 米マツ平角          | 2.0   | 2.0  | 0.0  |
| 北洋アカマツタルキ(現地挽) | 10.0  | 8.3  | 1.7  |
| ホワイトウッド集成管柱    | 3.7   | 3.7  | 0.0  |
| レッドウッド集成平角     | △ 4.2 | 0.0  | 0.0  |
| 型枠合板(輸入)       | 16.0  | 16.0 | 18.8 |
| 針葉樹構造用合板       | 4.2   | 8.3  | 10.9 |
| 針葉樹構造用合板(厚物)   | 4.3   | 8.7  | 10.9 |

・スギ正角はグリーン・KDとも保合。  
・ヒノキは正角、土台角とも保合。  
・米ツガは正角(現地挽)、土台角、割物(現地挽)とも強含み。  
・米マツ平角は保合。  
・北洋アカマツタルキ(現地挽)はやや強含み。  
・ホワイトウッド集成管柱は保合。  
・レッドウッド集成平角は弱含み。  
・型枠合板(輸入)強保合。  
・針葉樹構造用合板は厚物を含めやや強含み。